

## 愛護センターだより

発行:敦賀市少年愛護センター

住所:敦賀市東洋町1番1号

電話:0770-23-0189 Fax:0770-23-0523

『青少年健全育成都市宣言』都市:敦賀市

### 子どもの視力

文部科学省が今年2月に発表した令和7年度学校保健統計調査によると、裸眼視力が1.0未満の割合は小学生36.07%、中学生59.35%、高校生71.51%で深刻な状況が続いていることがわかりました。また、小1は24.09%ですが、小6になると48.03%となり、中1で53.52%、中3で64.91%、高3で71.89%と、学年が上がるごとに悪化する様子もうかがえます。さらに、0.3未満は小学生10.14%、中学生26.76%、高校生42.35%という割合。



この結果から、文部科学省は「家庭や学校でスマートフォンやタブレットなど電子機器を利用する時間が長くなるなど、児童生徒をとりまく環境変化の影響が考えられる」「屋外で過ごす時間を増やし、近くでものを見る作業を続ける場合には気をつけてほしい」というコメントを出しています。



学校では子ども達の学習のために一人一台のパソコンが配られ、ICT教育が進められています。また、2030年度には「デジタル教科書」が正式な教科書として採用される方向で準備が進んでおり、授業でノートパソコンやタブレット等の電子機器を使う時間が一層長くなりそうです。それに加えて、家庭でも電子機器を使った勉強となると、「視力低下に拍車がかかるのでは…」と心配になります。

子どもは、スマホやタブレット等を使い始めると、それに集中して目の疲れ等に気づかず、作業を続けてしまいがちです。ここは、保護者の方で適度に言葉かけをして、目を休ませるようにする必要があります。

視力を回復する方法として、『目を閉じた状態で、眼球をゆっくりと大きな円を描くように右回り・左回りにグルグルと回したり、目だけを上下左右、斜めに大きく動かしたり、1分ほどパチパチと開閉して目の血流を良くする等のストレッチ』や『近くと遠くの景色を交互に5~10秒ずつ眺める遠近トレーニング』、『ぼやけた模様を見ることで脳の処理能力を鍛えるガボール・パッチ』、『目を温めて筋肉の緊張をほぐす蒸しタオル』等々が有効とされています。もちろん、スマホやPC画面との距離を保つようにさせたり、こまめに休憩を取らせたり、適度な明るさを確保したりする環境面の配慮も必要ですね。



デジタル化が急速に進む日々です。それによって便利にはなりますが、同時に健康について考えなければなりません。子どもの視力にも気配りください。

### 自転車に乗るなら…

3月26日、警察庁交通局が「令和8年度春の全国交通安全運動の実施について」の中で、令和3年~7年の5年間に全国で発生した交通事故で死亡したり、重傷を負ったりした中高生は6548人で、その内、最も割合が高いのが「自転車乗用中」であることを発表しています。

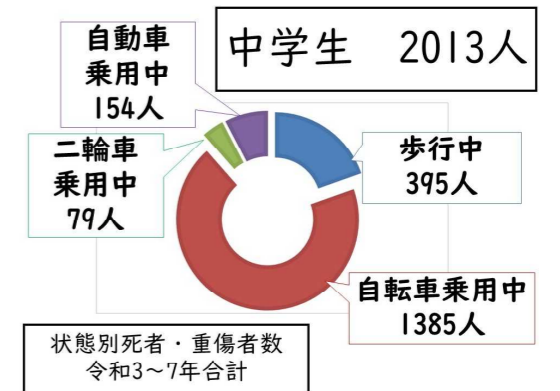


子ども達の死亡・重傷者数を校種別に見てみると、

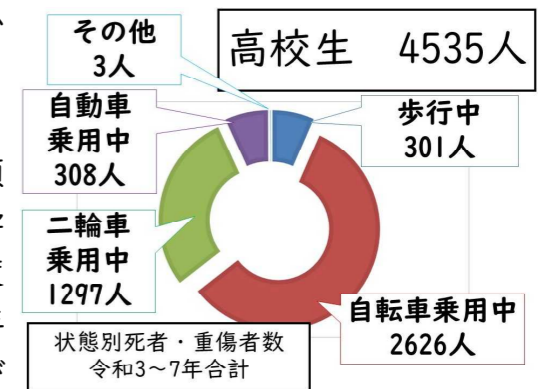
小学生の死亡・重傷者数	3387人	内、自転車乗用中	1233人 (36.4%)
中学生	2013人	内、自転車乗用中	1385人 (68.8%)
高校生	4535人	内、自転車乗用中	2626人 (57.9%)

※小学生の最多は歩行中の1842人 (54.4%)

また、小学生の自転車乗用中の死亡・重傷者数は全体では36.4%と中高生と比べて割合が低いものの、学年が上がる毎に高い割合となり、6年生の死亡・重傷者528人の内309人と58.5%となっています。



自転車乗用中の死亡・重傷事故を通行目的別に見てみると、登下校中の事故は中学生が545人 (39.3%) なのに対し、高校生は1764人 (67.2%) という高い割合となっています。さらに、高校生は下校よりも登校時に事故に遭うケースが多く、登校時は1068人で40.7%、下校時は696人で26.5%です (中学生は登校時284人で20.5%、下校時は261人で18.8%)。これは、高校生の通学距離が長いこと、朝の時間にゆとりがなかったり、「自転車を飛ばせば間に合う」と急いで学校に向かったりというケースがあることも考えられます。



こうしたことも踏まえ、福井県教委は本年度から県立高校の自転車通学生徒にヘルメット着用を必須とする方針を出しました。というのも、自転車通学生生のヘルメット着用率は23年度は2.1%、24年度は3.4%、25年度は11.5%という状況。県警がとった高校生へのアンケートでは、「周りが着用していない」「髪型が乱れる」「かっこ悪い」という意見が多かったとか…。



多感な時期で、外見を意識する年頃ですが、そうしたことを意識できるのは、生きていればこそ。自転車で通学する時間ぐらいいは外見よりも命を優先する意識を高めてほしいところです。改正された道路交通法ではヘルメット着用は努力義務ですが、事故に遭ってからでは…。ご家庭では、朝ゆとりを持って過ごし、早めに登校できるよう促すとともに、自転車乗車時にヘルメットの着用するようお子さんと話し合いをお願いします。

## 警察庁によりますと

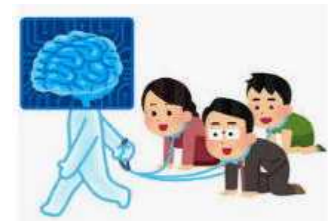
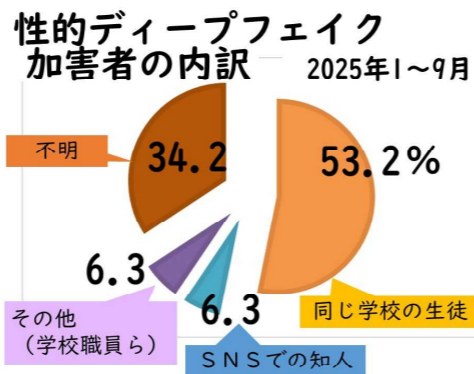
AIが随分身近なものとなり、有効に使うことができ、生活が便利になっていく一方で、生成AIの悪用も問題になってきています。子ども達にも関わる心配の一つが「性的ディープフェイク」…実在する子どもの性的画像の作成による被害・加害がいろいろなところで聞かれるようになってきています。そうしたものが画像加工アプリで簡単に作成できてしまうようになってしまい、誰でも被害者にも加害者にもなってしまうという現状です。



警察庁が2月26日に発表した25年統計によりますと、25年に18歳未満の子どもが性被害にあった事件の摘発件数は4858件。児童ポルノ事件の摘発数は2654件(被害者数は1273人)。この内、AIなどで子どもの画像を加工した事案は114件。被害者は、高校生が32人、中学生が66人。年齢別では、11歳が71人、12歳が57人で、合わせると7割以上。

また、別の報告によると、18歳未満の性的ディープフェイクに関する加害者のおよそ半数の53.2%が同級生や同じ学校の生徒とのこと。

事例として紹介されているのは、男子中学生の件で、同級生の女子生徒がSNSに投稿した画像をAIで裸の画像に加工し、ほかの同級生に販売。また、学校のタブレット端末から行事のアルバムに載っていた同級生の女子生徒の写真をAIで性的な画像に加工し、複数の同級生にグループチャットで拡散…というもの。



子ども達は好奇心旺盛で、いろいろなことにチャレンジし、多くのことを習得していきます。しかも、指1本で簡単にできてしまうという安易さから、その後の影響を考慮することもなく、思いつきで実行してしまう。たとえ、それが人を深く傷つけることになるうとも、犯罪行為であろうとも…。

そういえば、今年2月には甲子園常連校の野球部員が、自撮りさせた少女の性的な映像を拡散した…という事件がありました。子ども達はSNSを便利に使いながらも、その影響力については今ひとつわかっていない状況のようです。SNSに投稿することで、どのような影響があるのか。投稿された人物にどのような被害を受けるのか。そうした画像の作成やSNS等での拡散が犯罪や人権被害にもつながるということに想像が及ばず、その場の「のり」や楽しさを優先させてしまっているようです。

また、警察庁が発表した20歳未満の統計資料には、不正アクセス禁止法違反(他人のIDやパスワードを無断で使用してログインする等の行為など)で摘発された81人の内、約7割にあたる58人が中高生。オンラインカジノを利用して摘発された27人の内、21人が中高生という報告もありました。オンラインカジノは詐欺などの他の犯罪につながる危険性もあります。スマホ等を手にすると、「どんなことができるんだろう!？」と意欲的にその可能性にチャレンジしていくことは想像に難くありません。その結果が、犯罪…という悲しいことにならないように、スマホ等の使い方について、家庭でしっかり話し合わなければなりません。



## 青少年への愛のひと声活動……補導日誌から

○3月12日(木) 15:00~

昨日が中学校卒業式、今日が小学校卒業式ということで、あちこちで子ども達の姿が多く見られた。ゲームコーナーで2人の女子小学生が太鼓の達人の和太鼓ゲームを一生懸命にしていたので「上手だね」と拍手をして声かけしたら、ニコッと笑って「ありがとうございます」と返答があった。他の見回り場所でも小中学生が多く見られ、ベンチに座ったり、芝生の上を走り回ったりして遊んでいた。天気もよくて卒業式が終わったという安堵感が子ども達を通してこちらに伝わってきた。



○3月17日(火) 15:00~

ボーリング場は貸し切って卒業記念イベントのようで、小中高生・保護者が楽しそうにプレーしていた。コロナの時の子ども達は思い出を作ることが少なく残念に思い、心が痛んだが…。量販店のフードコートのところ小学生(高学年)男女6名中学生女子2名が、窓ガラスやスマホの裏にゴムの吸盤のようなものを投げて遊んでいた。ガラスもスマホも落として壊さないように注意した。卒業生にとっては楽しみも多く、思い出もいっぱい作れるこの時、事故に遭わないようけがをしないように願っている。



○3月24日(火) 19:00~

夜の8時30分過ぎに訪れたゲームセンターには小さな子ども4人を連れた父親がいた。子ども達はお風呂に入った後のようだったが、こんな時刻に小学校前の子どもがゲームセンターにいるのは、いかがなものかと2人で話した。



○3月30日(水) 19:00~

子ども3人がコインゲームをしていたので近づいたら、こちらに気づいた父親が別の台から移動してきて、ガードした。子どもだけのように見えるので、声かけされると思ったのだろう。ちゃんと周囲はみていたようだ。



○4月11日(土) 15:00~

三島橋の歩道で小学生の男の子が自転車を停めて泣きべそをかいていたので、そばに行き声かけすると、「自転車が急にガタガタと言って動かなくなりました」とのこと。自転車をしてみると、チェーンが外れただけだったので直すことができた。外出して帰る途中のできごとで、帰る約束の時間に間に合わないかと心配になったらしい。「気をつけて!」と言葉をかけると、喜んで帰って行った。

